

11/28 ルカの福音書 1 章 57-80 節「主はその御民を顧みて」

小池 宏明 牧師

先週の子ども祝福礼拝で、子どもたちと一緒に覚えた暗唱聖句は、サムエル記第二 7 章 16 節。この約束は、ダビデ王が生きた時代から約 1000 年後に、福音書に記録されている通りに実現した。

*祭司ザカリヤにヨハネ誕生の預言

ルカの福音書では、主の御使いガブリエルが、神殿で忠実に仕えている祭司ザカリヤに語り掛ける場面から始まる。救い主イエス・キリストの誕生を記す前に、その道備えをするバプテスマのヨハネの誕生から始まるのだ。ザカリヤが、香を焚く務めを担っている時に、御使いから妻のエリサベツにヨハネという名の男子が与えられるという予告を受けるが、彼は疑ってしまった。それで、ヨハネの誕生の時まで口が利けなくなってしまった。しかし、ザカリヤにとって、ヨハネの誕生までの約 10 ヶ月は、主の御業を深く思い巡らす機会になっただろう。こうしてヨハネ誕生の後、ザカリヤは御霊に満たされて預言的な賛美の歌を詠った。

*ザカリヤの賛歌

この賛美歌は、旧約聖書の約束の通りに、力強い救い主がダビデの子孫に立てられることや、誕生したヨハネが救い主の道を整える使命があることなどが高らかに詠われている。その中で、主なる神様が私たちを救い出す目的は、私たちの人生のすべての日々において、敬虔で、正しく、そして恐れることなく主に仕えて生きようになるためだ (74、45 節) とある。これは、救い出された者たちが、一生涯、主なる神様、救い主イエス様にお仕えして生きる喜びを体験し続けるためであることを示している。

*個人的な願いから全世界の救いへ

主なる神様は、ザカリヤ夫婦の個人的な願いをも聞いて下さり (13 節)、また主の民全体の願いである救いを実現するために、ご自分の民を顧みて下さる (68 節) ことも啓示された。主は私たちや私たちの家族に働きかけて下さるお方。そして、主は私たちを通して、もっと広い、地域社会や職場や学校や、ひいては国民 (くにたみ) を動かすような、大きな働きかけをなして下さるお方なのだ。

ザカリヤに起きた事は、昔の遠い国の祭司家族に起きたことではあっても、今を生きる私たちの家族に起こる主の御業と繋がっている。そして、その延長線上に、救い主、イエス・キリストをほめたたえ、お証しするように、御霊なる神様が導いて下さるのだ。アドベントを迎えて、私たちも救い主イエス・キリストを心から賛美し、証しできるように祈り求めたい。